

目 次

第1章 総説

1 沿革-----	1
2 施設の概要-----	1
3 組織及び業務内容-----	2
4 歳入歳出予算-----	5
5 主な試験検査機器-----	6

第2章 業務の概要

1 企画情報部-----	9
2 保健科学部-----	12
3 衛生科学部-----	15
4 環境科学部-----	17
5 地球科学部-----	20
6 検査部-----	23

第3章 研究報告

1 研究体系-----	25
2 研究概要報告-----	27
3 研究課題の外部評価-----	57
4 報文	
(1) 保護されたトラフズク幼鳥の放鳥後の移動-----	69
前田琢	
(2) 酵母Two-Hybridアッセイ法を用いた環境試料中のエストロゲン活性-----	73
高橋悟 伊藤朋子 池田享司 金一和 白石不二雄	
(3) 化学物質による室内空気汚染対策に関する研究-----	78
佐々木陽	
5 資料	
感染症発生動向調査事業における病原体検出状況(平成18年度)-----	85
高橋雅輝 高橋朱実 松館宏樹 藤井伸一郎 岩渕香織 蛇口哲夫	
6 学会等発表抄録	
(1) 岩手県におけるニホンジカの保護管理計画の現状と課題-----	93
山内貴義 工藤雅志 高槻成紀	
(2) LC/MSによる化学物質分析法の基礎的研究(24)-----	93
佐々木和明 鎌田憲光 齋藤憲光 田原るり子 横尾安子 田辺顕子	
茨木剛 長谷川敦子 上堀美知子 今村清 古武家善成 中野武 浦山豊弘	
杉山広和 劔持堅志 古谷典子 下尾和歌子 嘉村久美子 江原均 鈴木茂	
(3) 中国におけるPFOS及びPF0Aの汚染の現状-----	94
佐々木和明 八重樫香 齋藤憲光 金一和 原田浩二 小泉昭夫	
(4) 産業廃棄物安定型最終処分場における有機フッ素系化合物の浸出傾向-----	94

	佐々木和明 嶋弘一 齋藤憲光 築田幸	
(5)	中国・瀋陽市の大気試料に含まれるエストロゲン活性物質	95
	高橋悟 伊藤朋子 齋藤憲光 金一和 白石不二雄	
(6)	化学物質環境モニタリングの新しいアプローチ(1)	95
	高橋悟 伊藤朋子 門脇怜 小川敏幸 古武家善成 北本寛明 古谷長蔵 田中克正 吹屋貞子 山根一城 金田聡子 小島節子 山守英明 中島寛則	
(7)	揚子江におけるperfluorooctane sulfonate(PFOS)と perfluorooctane(PFOA)汚染	96
	齋藤憲光 佐々木和明 八重樫香 金一和 原田浩二 小泉昭夫	
(8)	環境水中の抗てんかん薬の分析	96
	鎌田憲光 佐々木和明 嶋弘一 齋藤憲光	
(9)	岩手県におけるPRTRデータを活用した健康リスク評価について	97
	松本文雄	
(10)	岩手県における二酸化炭素排出量の推計	97
	工藤浩	
(11)	岩手県における市町村別CO ₂ 排出量の推計と削減目標	98
	工藤浩 白藤周司	
(12)	岩手県における市町村別CO ₂ 排出量の推計と削減目標	98
	工藤浩 白藤周司	
(13)	セメント成分含有炭化物による水溶液中の農薬の吸着	99
	佐々木陽 中馬千穂 平原英俊 會沢純雄 成田榮一	
(14)	無機成分複合炭化物の調製と硝酸イオン吸着特性	99
	佐々木陽 柴崎瞳 平原英俊 會沢純雄 成田榮一	
(15)	水道水源における農薬類の除去方法	100
	佐々木陽 菅原隆志	
(16)	水道水源における農薬類の実態調査	100
	菅原隆志 佐々木陽	
(17)	市町村支援を目的とした健康づくり施策情報の提供に関する検討	101
	笹島尚子 小野償子 田沢光正	
(18)	特定死因を除去した場合の平均余命の延びと地域間比較	101
	笹島尚子 野原勝 尾島俊之	
(19)	学校保健と連携した生活習慣把握システム【第2報】	102
	- 有効活用に向けた今後の課題 小野償子 互野裕子 笹島尚子 田沢光正	
(20)	岩手県におけるノロウイルスによる胃腸炎の集団発生状況について	102
	高橋朱実 松館宏樹 高橋雅輝 岩淵香織 藤井伸一郎 佐藤卓 齋藤幸一 蛇口哲夫	
(21)	限外ろ過法を用いたLC/MS/MSによる農産物中の残留農薬分析	103
	畠山えり子 阿久津千寿子 梶田弘子 小向隆志	
(22)	ELISA法による茶葉中の残留農薬同時分析	103
	畠山えり子 阿久津千寿子 梶田弘子 小向隆志	

(23)Determination of imazalil residues in citrus fruits-----	104
by an enzyme-linked immunosorbent assay	
畠山えり子 阿久津千寿子 梶田弘子	
(24)LC/MS/MSを用いた乳・卵・蜂蜜中の残留農薬及び動物用医薬品の一斉分析-----	104
梶田弘子 菅原隆志 畠山えり子 小向隆志	
(25)限外ろ過法を用いた茶・スパイス・ハーブ中のLC/MS/MSによる-----	105
残留農薬一斉分析	
梶田弘子 阿久津千寿子 畠山えり子 小向隆志	
(26)Simultaneous determination of pesticides in crops by LC/MS/MS-----	105
using a cleanup step with ultrafiltration	
梶田弘子 畠山えり子 菅原隆志 佐々木陽 高橋悟 小向隆志	

第4章 研究発表目録

1 著書-----	107
2 学術雑誌原著論文-----	107
3 総説・報告等-----	107
4 学会等での口頭発表-----	107
5 環境保健研究センター公開研究発表会-----	108